

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

和歌山県

（地域における現状・課題）

中学校における休日の部活動の段階的な地域移行において、生徒にとって望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革を踏まえた部活動改革に向け、学校部活動と地域のスポーツ活動の連携の在り方に関する研究を行うことで成果と課題を検証する。

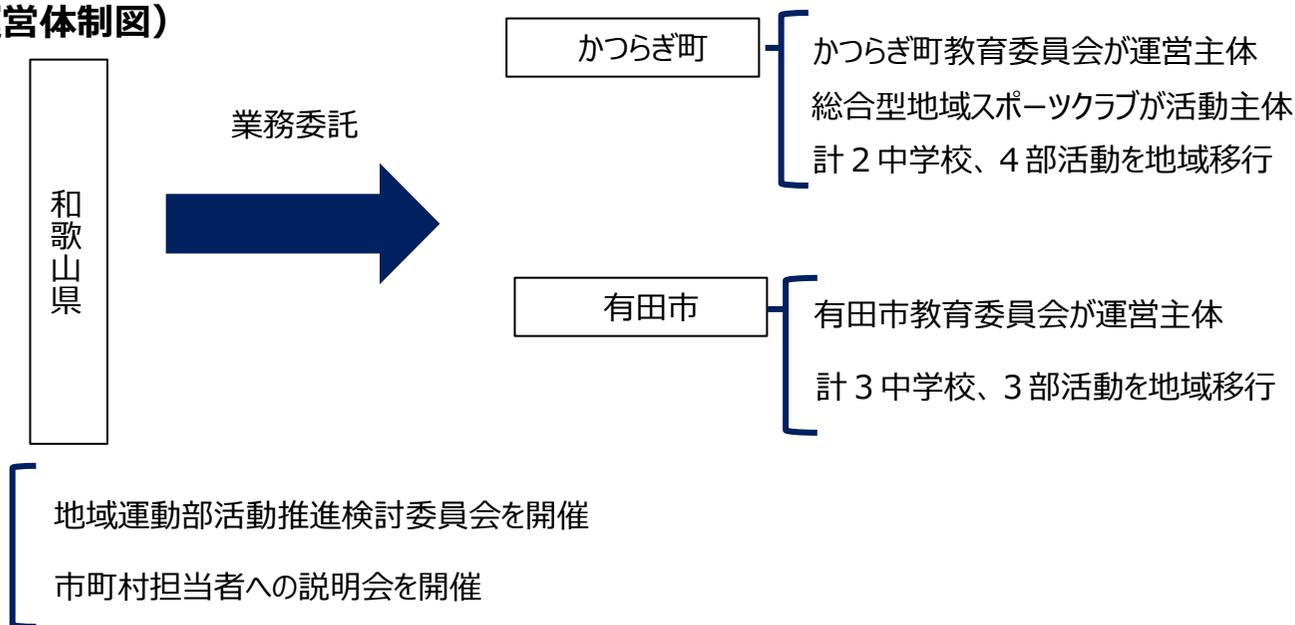
（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

年間2回の地域運動部活動推進検討委員会を実施し、本事業における本県、かつらぎ町、有田市の取組状況を共有し、今後の地域移行のあり方等について検討した。

（実践研究の成果）

今年度は、県内で7つの部活動で休日の部活動に代わる地域のスポーツ活動を実践することができた。地域の指導者が指導を行った場合は、顧問教員の負担軽減につながった。地域の指導者と部活動顧問教員との関連について、連絡を密にし、地域移行が無理のない形で進めていけるよう調整を行った。指導者同士の意思確認や相談を行う機会をもつことで改善が見られた。

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

有田市

（地域における現状・課題）

- ①部活動顧問を、専門性を有しない者が役割として担うことが多くなっていること。
- ②各中学校に在籍する生徒数の減少により、団体競技の人数が足りず、他校との合同チームとしての大会出場等が多くなっていること。
- ③部活動のガイドラインに示された適切な休養日の設定により、休養日以外の日に習い事等で練習に参加できない生徒にとって、活動時間が減ったこと。また、部活動への熱量が高い生徒が、その思いを注げる機会が減ったこと。
- ④各中学校において、放課後や休日の部活動指導を負担と感じる顧問がいること。
- ⑤中学校の部活動には、存在しないスポーツや男女の区別で所属できない部活動があること。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：有田スポーツクラブ（事務局：教育委員会）

活動場所：各中学校等

指導者：兼職兼業の教員、地域クラブ指導者、大学生

移動手段：徒歩、自転車、保護者送迎

責任主体：有田スポーツクラブ、各指導者

活動種目：陸上、軟式野球、剣道、スポーツ教室（陸上、野球）

会費等：無

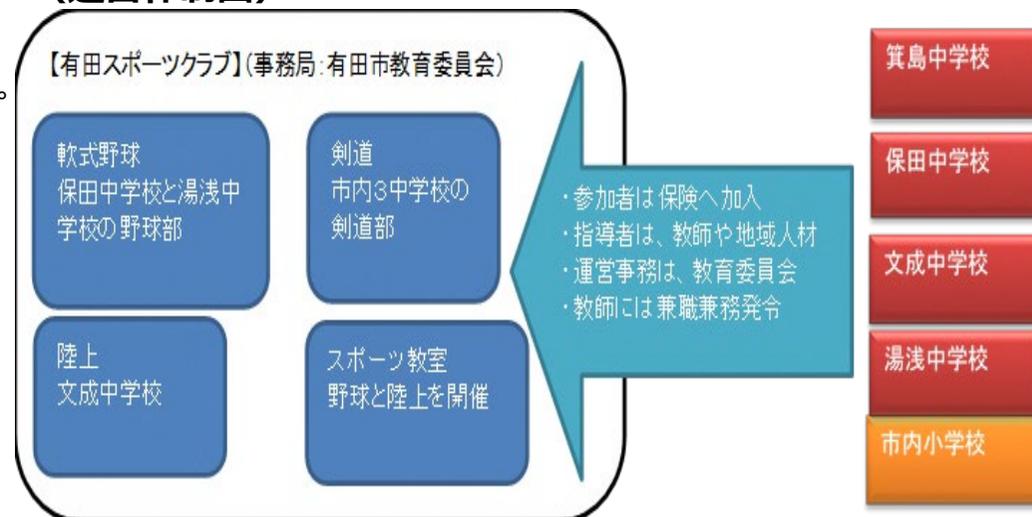
保険：事務局にて加入（指導者1,840円、参加者1,450円）

※スポーツ教室参加者に係る保険料は、イベント保険3,000円

（実践研究の成果）

- ①陸上と野球の教室を月1回以上開催したところ、中学生以外の参加もあった。
- ②3中学校の剣道部を対象として、合同練習会を月2回程度開催することができた。
- ③市町を越える合同チームの活動として、大会までの期間（2ヶ月）を平日3日、休日2日の活動にすることでチーム作りに活かすことができた。また、その期間の平日の勤務時間は、事業開始前に比べ平均して50分程度の削減ができた。
- ④地域の指導者を招くことで、顧問教員の力量アップや休みの確保にあてることができた。（8回の実施で、4回単独指導を行った。）
- ⑤講師を招いて地域移行の取り組みに関する講演を行うことで、共通の認識を持つことができた。
- ⑥アンケートの実施は、終盤の1回のみとなり、回収率も低い状況であるため課題が残った。

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

かつらぎ町

（地域における現状・課題）

- 近年の急速な少子化の進展により、学校ごとのチーム編成が困難になったり、部活動の競技数の減少
- 競技経験の少ない教師が指導したり、休日の活動や勤務時間を超過した指導等、教職員の働き方改革の視点からも体制の見直しが必要
- 地域のスポーツ団体や保護者の方々と学校との連携・協働が十分でない

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

- 運営主体：かつらぎ町教育委員会/総合型地域スポーツクラブ憩楽クラブかつらぎ
かつらぎ尚武会
- 責任主体：かつらぎ町教育委員会/総合型地域スポーツクラブ憩楽クラブかつらぎ
かつらぎ尚武会
- 活動場所：かつらぎ町立笠田中学校、かつらぎ町立妙寺中学校
- 活動種目：剣道、卓球、バレーボール、陸上
- 指導者：地域の指導者、兼職兼業の教員
- 会費等：無
- 移動手段：徒歩、自転車、スクールバス
- 保険：スポーツ安全保険（スポーツ安全協会）

（実践研究の成果）

①地域移行部活動の拡充

昨年度は笠田中学校卓球部、妙寺中学校剣道部の2つの部活動による実施であったが、今年度については指導者が確保できたことから、10月より笠田中学校陸上部、妙寺中学校バレー部を追加し、計4部で実施することができた。

②各中学校教員への周知の実施

昨年度の地域運動部活動の成果や課題、現在の国の動向や、これからの方向性について、各中学校の職員会議において、説明・周知し、先生方への協力をお願いした。

③児童生徒、保護者アンケートの実施による本事業の在り方の検証

対象：小学校4・5・6年生 保護者、中学2・3年生 保護者、中学校1・2年生 生徒

（運営体制図）

